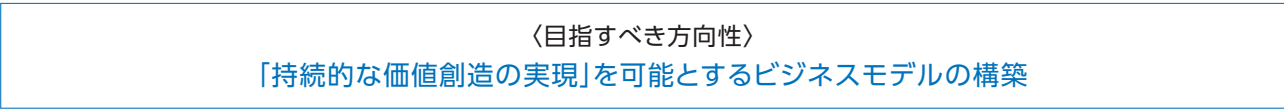


大気社では、優先的に取り組むべき経営上の「重要課題」として、「マテリアリティ」を特定しています。

「持続的な価値創造の実現」を可能とするビジネスモデルの構築のため、当社の強みやDNAを活かした8つのマテリアリティを1.経営・事業戦略に直結する項目と、2.社会価値を創出する項目に分けて特定し、さらにそれらを実現する上で必須な項目5つを3.「経営インフラ基盤」として整理しました。これをもとに評価と検証を行い、社会課題の解決と持続的成長を目指しています。



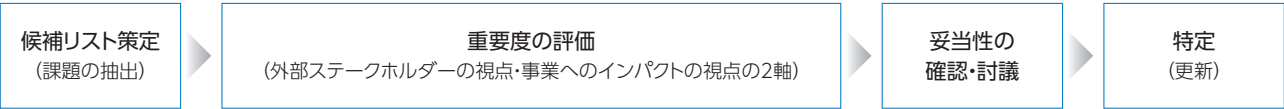
カテゴリー	マテリアリティ	リスクと機会	目指す姿
経営・事業戦略	技術競争力・イノベーション力の強化	リスク - 技術革新の進展に伴い既存の技術やビジネスモデルが陳腐化 - 異業種参入等による競争優位性の喪失	企業競争力、顧客満足の源泉であり、新たな事業を生み出すエンジンにもなる技術力、イノベーション創出力を高めていく。
		機会 - 革新的な技術・サービスの提供による他社との差別化、企業価値の向上 - パートナー企業との共創機会の拡大	
	グローバルな社会課題への取り組み	リスク イノベーション創出力の低下、新たなマーケットへの対応遅れ	新たな事業を生み出し、また、ビジネスモデルを強化する機会として、ESG等の社会課題を戦略的に取り入れていく。
		機会 - 本業として社会課題解決に取り組むことで持続可能性を追求、収益拡大 - 社会課題解決を起点に新たな事業創出	
	デジタル革新と生産性向上	リスク デジタル技術への対応遅れによる企業競争力の低下	デジタル技術の活用により、ビジネスモデルの変革と労働生産性向上に取り組む。
		機会 - デジタル活用等による新しい価値の創出 - DX推進による生産性の向上・業務効率化の促進	
環境(E)	気候変動の緩和と適応	リスク - 炭素税の導入などの政策・法規制等の実施・変更に伴うコスト増大、戦略見直し - 気候変動に伴う顧客の行動変化に対応が遅れることで事業機会を逸失	気候変動の課題に対し、温室効果ガスの排出削減と吸収の対策を行う「緩和」と気候変動の被害に備える「適応」の両面から取り組む。
		機会 - 低炭素・脱炭素ニーズの高まりによる事業機会の増大 - 気候変動課題への貢献を通し新たなビジネスを創出	
	汚染防止と環境負荷低減への取り組み	リスク 有害化学物質、大気汚染などによる自然環境悪化、人の健康への悪影響	固有の排気処理技術を活用し、VOCなど大気汚染物質の低減・除去、無害化などに取り組む。
		機会 大気汚染防止や環境負荷低減ニーズへの対応	
社会(S)	人材確保と人材育成	リスク - 人材の獲得競争激化による人材流出 - イノベーションを創出できる人材の不足	価値(イノベーション)を創出し、競争力を支える優秀な人材を確保し、定着を図り、育成していく。
		機会 - 優秀な人材確保と育成による人的資本拡大 - 新事業の創出や、革新性のあるサービスの提供につながる	
	働きやすい職場環境の整備	リスク - 対応不十分による優秀な人材の流出、社員エンゲージメントの停滞・低下、労働生産性の低下 - ビジネスチャンスの逸失	ダイバーシティ、多様で柔軟な働き方、ワークライフバランス、働きがい・従業員満足の向上を図る。
		機会 労働生産性の向上、健康力・モチベーションの向上、変化やビジネスチャンスへの対応力強化	
ガバナンス(G)	実効性の高いコーポレート・ガバナンス	リスク - 社会的信用の低下 - コーポレート・ガバナンス機能不全に伴う事業継続リスク	ブランド価値の毀損や財務上の損失を回避し、自らのビジネスモデルを実現するための戦略を着実に実行し、企業価値の持続的向上を図る。
		機会 - 資本市場からの信頼獲得 - 変化への適切な対応、安定的な成長基盤の確立	

持続的な価値創造を実現する上で必須な「経営インフラ基盤」

● コンプライアンス ● リスクマネジメント

マテリアリティ特定プロセス

社会的責任に関わる従来型・網羅視点の各種フレームやガイドラインに加え、統合報告フレーム、SRI(社会的責任投資)の視点、グローバルリスク、SDGsなど、サステナビリティを取り巻く新たな課題も幅広く考慮に入れ、マテリアリティ候補を設定しました。外部基準による重みづけ評価として外部フレーム・ガイドラインに基づいた、社会全般の認識としての重みづけに加え、当社の主要な顧客のマテリアリティに基づいた客先目線の重みづけを定量化・可視化しました。



戦略とのつながり	主な取り組み	SDGsとの関連性
【コア事業】 [環境]付加価値を生み出し続ける事業展開、技術の大気社を強化 [塗装]グローバルな社会課題を意識した開発 [共通]業務の仕組みの改善と生産性向上 【新たな価値創出】 知財戦略 R&D／オープンイノベーション 新事業創出 【経営基盤】 人材資本の育成・確保 新たな価値提供に向けたデジタル戦略	- 高い技術力を発揮できる産業空調分野への注力。顧客接続の強化および顧客の生産プロセスの技術革新への積極的な追従 - 新技術開発センター・R&Dサテライトの活用による顧客ニーズの把握・共同開発 - 学術機関・スタートアップ企業との融合による革新的技術開発の推進 - ドライ加飾技術の開発推進など、顧客の塗装工程の変革に貢献できる技術習得と商品開発の促進 - ロボット制御の技術・ノウハウを活用し、オートメーション事業領域を拡充 - SDGs・Society 5.0が必要とする技術の追求 - 非日系顧客からの受注拡大 - 非日系企業のニーズに応える技術の多様化 - 海外ネットワークを活用した、現地に根差した事業展開 - 海外拠点と連動した開発体制の構築 - 働きやすさ向上のため業務のデジタル化・DX化 - BIM、各種現場管理支援ツールの実用化 - 業務プロセスのデジタル化による現場業務の遠隔化、自動化	2 気候変動に由来するリスク 3 気候変動に由来する機会 7 持続可能なエネルギー 9 産業・基盤の革新 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 つくばないで暮らす 13 気候変動に由来するリスク 17 パートナーシップで目標を達成しよう
【コア事業】 [環境]付加価値を生み出し続ける事業展開 [塗装]顧客ポートフォリオの再構築、グローバルな社会課題を意識した開発 【新たな価値創出】 R&D／オープンイノベーション 新事業創出	- GHG排出削減の取り組み - 空調設備のミニエンパイロメント化(小規模環境制御)による省エネルギー化推進 - カーボンニュートラル実現に向け、塗着効率改善、省エネルギー技術の開発による設備の小型化 - 水素燃料バーナーの導入など、環境負荷の少ない設備の開発・検証を実施 - TCFDに基づくシナリオ分析の実施とリスク・機会への対応 - 排気処理技術を生かしCO₂直接回収(DAC)、植物育成への利用等 - 水資源の維持・有効利用の観点から、新たな水処理・生成技術(MOF等)の開発 - 施工現場における廃棄物の排出削減、化学物質の適正管理	7 持続可能なエネルギー 9 産業・基盤の革新 11 持続可能な都市とコミュニティ 13 気候変動に由来するリスク 17 パートナーシップで目標を達成しよう 3 気候変動に由来する機会 7 持続可能なエネルギー 9 産業・基盤の革新 12 つくばないで暮らす 17 パートナーシップで目標を達成しよう
【コア事業】 業務の仕組みの改善と生産性向上 【経営基盤】 人材資本の育成・確保 新たな価値提供に向けたデジタル戦略	- 豊富な知識、経験を積んだプロフェッショナルの育成 - 計画的な人材価値の開発(経営人材、プロ人材) - グローバルな教育プログラム設計 - キャリアアップ・資格取得支援 - 健康経営の推進 - 働き方改革の推進 - イノベーションを生み出す組織風土づくり - 社員エンゲージメントの向上 - プロジェクト管理体制の見直しによる人員最適化 - 業務量の平準化、生産性向上の推進による労働環境改善	4 働きがい、経済的安定感 8 豊かになり、経済的安定感 10 人や国を超えて公正で包摂的な社会を 4 働きがい、経済的安定感 8 豊かになり、経済的安定感 10 人や国を超えて公正で包摂的な社会を
【経営基盤】 グループガバナンス体制強化	- コーポレート・ガバナンス体制の強化 - 資本コストを踏まえた事業ポートフォリオマネジメント - 関係会社の取締役会・監査機能の実効性強化 - 新たな価値提供に向けたデジタル戦略 - コンプライアンスに対する社員意識の醸成	16 平和と公正 17 パートナーシップで目標を達成しよう

ビジネスモデルの持続可能性を見据え、整備していかなければならない基盤。

● 品質/安全 ● 情報セキュリティ ● 地域社会への貢献